

びとう和広後援会ニュース

12号外 No. 1
発行日：2012年6月16日
発行責任：びとう和広後援会
会長：小倉義彦

三期目に向け、 頑張っています！

後援会の皆様のご支援に心から感謝いたします。皆様からのご意見をもとに、本当の「安心のまち・三田」を創るために、頑張ります。しっかり審議ができる議会こそ三田のまちづくりの柱と考えています。

皆様のご支援に応えられるよう、力一杯頑張ります。



かずひろ
びとう 和広

「びとう和広」4つの政策！

- 「しっかり財政」 民間企業の視点と発想で、税金の使い方をただし、効率・効果を図ります。
- 「にっこり安心」 医療サービスの整備と充実で、安心して暮らせる地域型福祉を進めます。
- 「のびのび育成」 出産・育児・教育・就職に対し、一貫した支援体制を確立します。
- 「いきいき活力」 三田の特性を活かした商工観光の推進と企業誘致・雇用拡大を図ります。

『びとう和広』後援会 会員拡大活動を展開！！



後援会総会で活動報告する
びとう和広

「びとう和広」の民間企業の視点に立った政策と、子を持つ親として考える三田の将来像に共感頂き、更なる後援会会員拡大に向けて取り組んでいます。皆様のご紹介を宜しくお願い致します。

「びとう和広」は、皆様に市政に送っていただいて8年間、「皆様の声を市政に！」をモットーに、できる限り皆様にお会いし、また、後援会行事を通して、ご要望・ご提案を頂き、しっかりと財政基盤の上に安心して育成できる活力ある三田をめざして、一つ一つの案件に丁寧に取り組んで参りました。

現在も後援会会員様のお宅を訪問し、ご挨拶と市政報告をしながら皆様との対話を実施しております。また、皆様から新たにご紹介戴いたご家庭にもお伺いし、お話をさせて頂いています。

これからも、対話が大切と考え、皆様から頂いた声をしっかりと市政に届けてまいります。皆様のご支援をいただけるよう、精一杯頑張ります。

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel:079-563-1860 Fax:079-563-5093

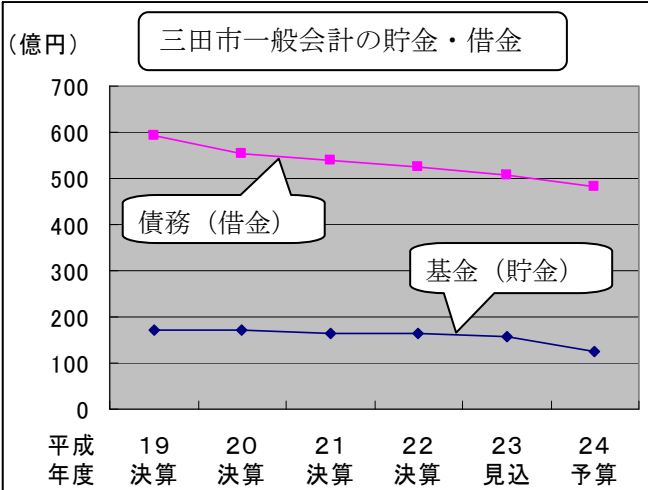
<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel:&Fax:079-562-8653
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

しっかり財政

三田市の一般会計は、平成 23 年度見込で 4 年前に比べ、貯金 13.7 億円減・借金 86.1 億円減となります。貯金の取り崩しを抑え、**借金を削減**しました。

今年度着手の市新庁舎は、庁舎用貯金 55.4 億円で三年かけて建築し、借金は増えません。また、過去に購入した土地の清算などで、貯金は約 80 億円に減りますが、財政的には健全な状態と考えています。

予算や決算審議では、私が訴えていた**事業別の目的と成果**で検証されるようになりました。これからも、民間の感性・手法を活かして効率的で効果的な事業を推進します。



にっこり安心

市民病院中心の連携医療体制と、救急やリハビリの体制強化を進めてきました。市民病院の医師・看護師の増員、腎臓内科等の復活、全病床運用の復活、駐車場増設など運営も財政も改善できました。

休日応急診療センターは、私の県所有地有効活用の提案に、休日当番医輪番制の各病院負荷軽減を合わせた事業として実現し、大きな成果となりました。

都市化による犯罪も増えています。警察のパトロール強化・防犯カメラの設置・地域巡回や声かけ活動など、**犯罪抑止事業**を推進してきました。

昨年 4 月「**消防東分署**」が完成し、現在救急拠点として運用しています。今年度から消防署員を増やし、4 年後消防にも対応できる拠点になります。



消防西分署での訓練状況

「びとう和広」2期目の成果！ のびのび育成 いきいき活力

多くの子育て支援事業を実現できました。

一例として、お子様の**医療費助成制度**では、小学校卒業まで通院費を、中学校卒業まで入院費を無料とし、各家庭の所得制限はありません。

フラワータウンの多世代交流館のように、子育て相談・情報提供など経験豊富な先輩に話を聞くことやパパママの事前体験研修はとても有意義と考え、他拠点を訴え、昨年 11 月キッピーモールに、今年 6 月駒ヶ谷体育館に新たな**子育て交流広場**ができました。

また、市立幼稚園の園区自由化・預かり延長・芝生園庭、放課後児童クラブ時間延長などを実現しました。

これからも一層の子育て支援として、待機児童削減、病児保育の強化、子どもの居場所づくり拡充などを進め、安心して働きながら子育てが出来る体制作りを図るとともに、教育や就職への連携した支援体制の確立をめざします。

三田駅前子育て交流広場の一事業



第二テクノパーク (全 97ha の内、約 60 ha) の開発が実現し、第一工区 9 区画を販売開始しました。現在 1 区画が契約でき、更なる企業誘致を進めます。

三田は高速道路の結節点であり、大阪・神戸に 1 時間以内で出られる要衝の地です。自然と都市化のバランスも程よい中間都市ですので、多くの観光資源や自然を活かした事業により、三田ならではのまちづくりを推進してきました。JR や神戸電鉄の充実とバス路線の見直しを進め、活力あるまちをめざします！

また、**空き家・空き店舗**の再利用促進を図り、住宅地の安全とブランド維持そして地域力の向上を訴えてきました。民間事業への配慮もありますが、都市環境の整備と子育て支援の優位性で子育て世代の呼び込みを進められました。

市街化調整区域では、**相野駅周辺**で集落地区計画が進められることとなりました。

第二テクノパークの開発状況(4月)

